# 建築学科

### 1. 学習・教育目標

建築学は人と社会のインターフェイス技術として、身体的スケールから地球的スケールまであらゆる分野に跨る総合的な学問分野であることを理解し、社会のニーズを踏まえた上で課題解決と価値の創造の両立をめざす、広範かつ統合的な知の素養を身につける。建築という広範な学問領域を、建築理論(Architectural Theory: AT)、都市環境(Urban Environment: UE)、構造工学(Structural Engineering: SE)、建築デザイン(Architectural Design: AD)という緩やかに連携する四つの分野によってバランスよくカバーすることを基本にカリキュラムを形成する。

- . AT 分野では、歴史性・芸術性・伝統性あるいは人間・行動・利便性の観点から建築空間をとらえなおすことで、人間生活に深く関わる建築の概念を支える思想や計画の理論形成について習得する。
- . UE 分野では、ヒト・構造物(建築)・エネルギー・各種環境要素(音・光・熱・空気・水等)・生態系の複合的なつながりを一つのシステムと捉え、人間社会と地球環境のバランスを考えた思考力、計画力、デザイン力を習得する。
- . SE 分野では、建物の安全性とそこに集い住まう人たちの生命と財産を守るために、建物の材料・構造・構法の基礎的な知識、理論を習得するとともに、力の作用を数値解析および実験により理解する。
- . AD 分野では、建築のデザインが工学的知識から美学・哲学などの人文社会学の知識までが要求される包括的なものであることを理解し、そこから生まれるアイデアをもとに多面的な知識を統合し社会へつなげる構想力、表現能力を身につける。

これら四つの分野を三つのステップで構成・展開することにより、幅広い分野を横断的、総合的、有機的に学習していくところに特徴がある。三つのステップとは、「建築への導入」期(1年春学期~1年秋学期)、「建築への素養」期(2年春学期~3年春学期)、「建築専門分野への萌芽と探求」期(3年秋学期~4年秋学期)であり、基礎的な知識習得からその応用および専門領域における修学の深化へと展開する。

建築設計教育は、これら四つの分野と三つのステップに対応しつつ展開され、基礎的なプレゼンテーション能力や構成力を高める教育も並行して展開する。これにより芸術的、機能的、創造的でかつ災害に強い快適な建築と都市をデザインする能力を身につけ、人々が生きるに相応しい街や社会を形成していくことに貢献できる人材を養成する。

#### 2. 教育の流れ

1 年秋学期から 3 年春学期にかけて建築理論系, 都市環境系, 構造工学系各分野の科目群をバランスよく段階的に習得しつつ, 必修科目であるデザインスタジオ I , Ⅲ A , Ⅲ B を通して, 基礎的な設計製図能力を身につけるだけでなく, 各分野で学んだ知識を広く統合しながら課題発見能力, 課題解決能力であるデザイン力を獲得していく。

また,建築設計教育と並行して,絵画・彫塑・基礎デザインや演習,ゼミなど継続的な課題追求を通して基礎的な表現力や構成力,コミュニケーション能力を身につける。3 年秋学期からは,建築設計系,地域環境系,構造構法系という分野別の総合的な演習により建築専門分野への修学に深化する。

最終年次は学修の集大成として卒業論文または卒業設計のいずれかを選択して卒業研究に取り組む。すなわち、専門分野に関するテーマを選定して個別の研究または設計を行い、論文または設計作品の形で成果をまとめて発表する。優秀な論文および設計作品に対する表彰制度を設け、学外の各種競技に出展させる。

## 3. 履修登録単位数の上限

履修登録単位数の上限(半期)は、下記枠内の指定科目を除き1年次24単位、2年次以上20単位とし、上限緩和措置適用者 (履修登録しようとする学期の前学期のGPAが3.0以上の者)に対しては26単位とする。

### 上限設定の対象とならない科目

### 4. 早期卒業

3年春学期終了時点で卒業研究着手資格を有し、かつ卒業に必要な科目のGPA が4.0 以上で修得した場合で、卒業研究による卒業審査に合格した者については卒業が認定される。この早期卒業を希望する学生は、2年次終了時点に予め教務・厚生委員に申請をおこない、履修指導を受けることが必要である。その上で、早期卒業のためには、3年春学期終了時に卒業研究のための学力と能力に関する審査をおこない、これに合格することが必要である。

## 5. 成績の扱い

卒業資格認定、早期卒業と飛び入学の際には、原則としてGPAを判定基準に用いるほか、GPTを判定の参考に用いる。

# 6. 大学院への飛び入学

早期卒業とは別に、2 年次終了時の成績が極めて優秀な学生は、3 年次に本学大学院の入学試験を受験して大学院に飛び入学することができる。ただし飛び入学の場合は学部卒業扱いにならないため、将来建築士受験を考える者にとっては不利となるので注意を要する。詳細は教務・厚生委員に相談すること。

### 7. 履修基準表

		1 目 区 分		卒業研究着手基準	卒業に必要な単位数		
全 学	甘7株4年日	人文社会系		4	4(**1)	高度全学教育指	
	基礎科目	自然科学系		4	4(%1)	定科目から4単	
	グローバル教	育科目		-	選択(※1)	位以上(※1)	
	イノベーション	教育科目		_	进州(201)		
教育		英語科目		6	6		
科	外国語	初修外国語科目		2	2		
目		計		-	10		
	健康スポーツ	科目		-	2単位まで算入可能		
	計			20	30		
		都市科学の基礎		4	4		
	学部共通科目	グローバル・ロ	ーカル関連	-	(2科目)		
		リスク共生関連		-	(2科目)		
学		イノベーション	関連	-	(2科目)		
部		計		-	14		
教育	基礎演習科目	1		3	3		
科	専門基礎科目	1		10	12		
		古田コマ科日	必修	6	15		
(※2)	±0000	専門コア科目 選択必修		25(各分野4単位以上)	25(各分野4単位以上)	)	
	専門科目	専門関連科目計		-	4		
				58	63		
	計			-	94		
		計		110	124		

(※1)高度全学教育指定科目として、3年次以降に本学科が指定した基礎科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目の中から4単位以上を履修すること。

(※2)学部教育科目のうち2単位以上は、学科の指定する英語関連科目を修得すること。

### 8. 卒業資格

- (1) 4年以上在学し、全学教育科目 30 単位以上、学部教育科目から 94 単位以上、合計 124 単位以上を修得し、卒業に関わる授業科目の GPA が 2.0 以上であり、かつ、卒業審査に合格すること。
  - (入学前既修得単位として認定された科目、他大学開講科目で単位認定された科目、交換留学(派遣)による認定科目、「合格」「不合格」で評価される科目は、卒業に関わる授業科目のGPAの対象としない。)
- (2) 全学教育科目については、人文社会系基礎科目 4 単位以上、自然科学系基礎科目 4 単位以上、英語 6 単位以上と初修 外国語 2 単位以上を含む外国語 10 単位以上(ただし、YGEP-N1 においては、外国語は日本語で代替することができる) を修得し、合計 30 単位以上修得すること。
- (3) 高度全学教育指定科目として学科が指定した基礎科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目の中から合計 4 単位以上を3 年次あるいは4 年次に修得すること。
- (4) 学部教育科目については、以下の(5)~(10)までの条件を満たし94単位以上を修得すること。
- (5) 学部共通科目(基幹知科目)については、都市科学の基礎3科目4単位、グローバル・ローカル関連科目2科目以上、リスク共生関連科目2科目以上、イノベーション関連科目2科目以上を含む合計14単位以上を修得すること。
- (6) 建築学概論・演習3単位を修得すること。
- (7) 専門基礎科目では、「解析学 I 」、「解析学 I 」、「線形代数学 I 」、「線形代数学 I 」、「微分方程式 I 」、「関数論」、「図学 I 」、「図学 I 」、「確率・統計」の中からの 10 単位以上を含む 12 単位を修得すること。
- (8) 専門科目は、専門コア科目から必修科目 15 単位、選択必修科目 25 単位を含み、専門関連科目から 4 単位以上を含む合計 63 単位以上を修得すること。
- (9) 専門コア科目の選択必修科目は、以下に示す建築理論(AT)分野、構造工学(SE)分野、都市環境(UE)分野、建築デザイン(AD)分野からそれぞれ 4 単位以上を含む 25 単位以上を修得すること。
  - ・建築理論(AT)分野:「西洋建築史 I, II」「人間生活と建築計画 I, II」「公共施設の計画 A, B」「近代建築史 A, B」「日本建築史 I, II」「建築史演習」から4単位以上
  - ・構造工学(SE)分野:「建築材料」「建築構造解析 I・演習」「建築構造解析 II・演習」「建築構造 I, II」「建築構造計画 と構造デザイン I, II」「鉄筋コンクリート構造・演習」「建築材料・構造実験」「建築生産 I, II」「鉄骨構造・演習」から 4単位以上
  - ・都市環境(UE)分野:「建築環境計画 I, II」「建築熱・空気環境 I, II」「都市と都市計画 I, II」「建築音・光環境 A, B」「都市計画とまちづくり I, II」「都市環境設備計画 I, II」「設備計画 I, II, III, IV」「建築法規 I, II」「都市環境リスク共生論 B」から 4 単位以上
  - ・建築デザイン(AD)分野:「ランドスケープ論 I, II」「絵画・彫塑・基礎デザイン I・II」「身体と空間のデザイン」「建築コンピューターデザイン A, B」から4単位以上
- (10) 学部教育科目のうち2単位以上は、学科が指定する英語で開講されている科目を修得すること。

#### 履修基準及び卒業資格に関する注意:

- (i)本学他学部の科目の履修を希望する場合は、教務・厚生委員へ相談すること。
- (ii)放送大学の科目は、全学教育科目として2単位まで卒業に必要な単位に算入される。
- (iii)編入学など途中から入学する学生に対しては、編入される学年次の学生と同じ扱いを原則とする。
- (iv)卒業研究には、卒業論文と卒業設計があり、いずれか1つを選択する。

# 9. 卒業研究を行うに必要な要件

- (1) 全学教育科目20単位以上(英語科目を6単位以上、初修外国語を2単位以上を含む),専門基礎科目の選択必修科目10単位以上を取得していること。なお、全学教育科目の基礎科目は卒業に必要な科目ごとの最低履修単位の条件を満たしていること。
- (2) デザインスタジオ Ⅰ, デザインスタジオ Ⅱを修得していること。
- (3) 専門科目から58単位以上を修得していること。このうち専門コア科目の選択必修は、前述の「8. 卒業資格(9)」に示した内容通り25単位以上修得していること。
- (4) 上記(1)~(3)の科目を含めて合計110単位以上を修得していること。 卒業研究着手資格者は4年次の初めに審査の上発表する。なお、卒業研究のうち卒業設計を履修するものは、3年秋学期の 建築デザインスタジオ I Aおよび I Bに合格できる能力・知識・技術を有すること、および4年春学期の建築デザインスタジオ II Aおよび II Bの単位を修得することが必要である。

# 授業科目一覧

	長科日				セメスター		単位数	Į.			
科目区分		分	授業科目の名称	配当年次	/ターム (※)	必修	選択必修	選択	備考		
【学音	羽教育	科目】			l			1	I		
基礎演習科目		丨目	建築学概論•演習	1	春	3					
学部共通科目		∤目	8ページを参照								
			解析学I	1	春		2		「解析学Ⅰ」、「解		
			解析学Ⅱ	1	秋		2		析学Ⅱ」、「線形		
			確率•統計	3	秋		2		代数学IJ、「線		
			図学 I	1	春		2		形代数学Ⅱ」、		
			図学Ⅱ	1	秋		2		「微分方程式		
	専		線形代数学 I	1	春		2		I」、「関数論」、		
	専門基礎科目		線形代数学Ⅱ	1	秋	İ	2		「図学I」、「図学		
	礎		微分方程式 I	1	秋		2		Ⅱ」、「確率・統		
	科目		微分方程式Ⅱ	2	秋			2	計」から 10 単位		
			物理学IA	1	春			2	以上を含む 12 単		
			物理学IB	1	秋			2	位修得すること。		
			関数論	2	春		2				
			安全工学概論	4	春			2			
			溶接工学概論	3	秋			2			
		建築理論(AT)分野	近代建築史A	3	1)		1		必修科目 15 単		
			近代建築史B	3	2		1		位を修得するこ		
			建築史演習	2	6		2		と。		
			公共施設の計画A	3	1)		1		選択必修科目		
			公共施設の計画B	3	2		1		は、建築理論(A		
			西洋建築史I	2	1)		1		T)分野、構造工		
			西洋建築史Ⅱ	2	2		1		学(SE)分野、都		
			日本建築史I	2	4		1		市環境(UE)分		
			日本建築史Ⅱ	2	(5)		1		野、建築デザイ		
<del>.   .</del>	専		人間生活と建築計画 I	2	4		1		ン(AD)分野から		
専	門		人間生活と建築計画Ⅱ	2	(5)		1		それぞれ4単位		
門	コア	構造工学(SE)分野	建築構造解析 I ·演習	1	秋		3		以上を含む 25 単		
科	科		建築構造解析Ⅱ・演習	2	春		3		位以上を修得す		
目	目		建築構造計画と構造デザインI	2	1)		1		ること。		
			建築構造計画と構造デザインⅡ	2	2		1				
			建築材料	3	春		2				
			建築材料·構造実験	3	春		3				
			建築生産 I	3	4		1				
			建築生産Ⅱ	3	5		1				
			鉄筋コンクリート構造・演習	2	秋		3				
			鉄骨構造·演習	3	春		3				
			建築構法I	1	4		1				
			建築構法Ⅱ	1	(5)		1				

					セメスター	単位数			
禾	科目区分		授業科目の名称	配当年次	/ターム	必	選択	選	備考
					(※)	修	八 必 修	択	
			建築音·光環境A	3	①		1		
			建築音·光環境B	3	2		1		
			建築環境計画I	2	1)		1		
			建築環境計画Ⅱ	2	2		1		
			建築熱·空気環境 I	2	4		1		
			建築熱•空気環境Ⅱ	2	(5)		1		
			建築法規I	3	4		1		
		都市	建築法規Ⅱ	3	5		1		1
		環	設備計画 I	3	1)		1		1
		現行	設備計画Ⅱ	3	2		1		]
		都市環境(UE)分野	設備計画Ⅲ	3	4		1		]
		分野	設備計画IV	3	(5)		1		]
			都市環境設備計画 I	3	1)		1		]
			都市環境設備計画Ⅱ	3	2		1		]
	専門コア		都市環境リスク共生論 B	2	(5)		1		
			都市計画とまちづくりI	3	1)		1		
			都市計画とまちづくりⅡ	3	2		1		
			都市と都市計画 I	2	4		1		
専			都市と都市計画Ⅱ	2	5		1		
門門		建築デザ	絵画・彫塑・基礎デザイン I	1	春		2		
科			絵画・彫塑・基礎デザインⅡ	1	秋		2		
			建築コンピュータデザインA	2	6		1		
		イン(AD)分野	建築コンピュータデザインB	3	3		1		
			身体と空間のデザイン	1	秋		3		
	科	<u>こ</u> 分	ランドスケープ論 I	2	4		1		
	目	野	ランドスケープ論 Ⅱ	2	5		1		
			建築·都市環境工学演習	2	秋		3		]
			建築インターンシップ	3	3		2		]
			建築構造・構法設計演習	3	秋		4		]
			建築理論演習	3	秋		4		]
			地域環境計画演習	3	秋		4		]
			建築構造解析 <b>Ⅲ・</b> 演習	4	春		2		]
			建築デザインスタジオIA	3	4		2		]
			建築デザインスタジオ I B	3	5		2		]
			建築デザインスタジオⅡA	4	1)		2		]
			建築デザインスタジオⅡB	4	2		2		]
			建築デザイン論	4	1)		1		]
			建築ゼミA	4	1)		2		]
			建築ゼミB	4	2		2		]
			卒業研究A	4	春	2			]
			卒業研究B	4	秋	3			

			<b>第1 1/2 左:</b>	セメスター	単位数			
科	目区分	授業科目の名称	配当年 次	/ターム (※)	必修	選択必修	選択	備考
	専	デザインスタジオ I	2	春	3			
	専門コア科目	デザインスタジオ <b>Ⅱ</b>	2	秋	3			1
		デザインスタジオⅢA	3	1)	2			1
		デザインスタジオⅢB	3	2	2			1
		フィールドワーク論・演習 I	2	1)		1		1
		フィールドワーク論・演習Ⅱ	2	2		1		1
		環境・エネルギーシステム論 I	2	4		1		専門関連科目か
		環境・エネルギーシステム論Ⅱ	2	(5)		1		ら4単位以上を
		環境法 I	2	1		1		修得すること。
		環境法Ⅱ	2	2		1		-
		空間芸術論講義	3	春		2		-
		建設の国際プロジェクト・マネジメント I	3	4		1		-
		建設の国際プロジェクト・マネジメントⅡ	3	(5)		1		-
		現代芸術論講義	3	春		2		-
	専門関連科目	現代都市文化論講義	3	春		2		-
		建築プレゼンテーション	3	3		2		
		合意形成論	3	5		1		-
		里地と山地の生態学 I	2	4		1		
専		里地と山地の生態学Ⅱ	2	5		1		-
門		資源循環·廃棄物学 I	3	1		1		-
科目		資源循環·廃棄物学Ⅱ	3	2		1		1
P		構造動力学I	3	①		1		1
		構造動力学Ⅱ	3	2		1		
		土質力学Ⅱ	2	①		1		
		都市·地域経済学 I	2	①		1		-
		都市·地域経済学Ⅱ	2	2		1		-
		都市下水工学	3	5		1		1
		都市交通計画	3	1		1		-
		都市上水工学	3	4		1		1
		都市文芸文化論演習 I	4	1		1		1
		都市文芸文化論演習Ⅱ	4	2		1		1
		水理学Ⅱ	2	2		1		1
		文化人類学講義	2	秋		2		1
		メインテナンス工学 [	3	4		1		1
		メインテナンス工学Ⅱ	3	5		1		]
		Prospects of Arch, Infstr, Eng & Ecosystem	2•3	春		2		英語
		Sci(都市創成技術(建築都市·環境学))*						
		建築実践英語A	3•4	4		1		隔年
		建築実践英語B	3•4	4		1		隔年

<sup>(※)</sup>春=春セメスター、秋=秋セメスター、丸数字=各タームを表す。

<sup>\*「</sup>都市創成技術(建築都市・環境学)」を履修する際は、英語科目名「Prospects of Arch, Infstr, Eng & Ecosystem Sci」で履修登録を行ってください。

	専門科目		
	AD     AT     UE     SE       建築デザイン     建築理論     環境工学     構造工学	専門基礎科目	全学教育科目
1年①②	UU1001 都市科学A UA1001 建築学概論・演習 UU1302 建築と社会のデザイン(※ 2) UA1482(※) 絵画・彫塑・ 基礎デザイン I	UU1042 解析学 I UU1042 図学 I UU1042 線形代数学 I UU1042 物理学 I A	
1年③			
1年④⑤	UU1001 都市科学B, UU1001 都市科学C         UA1482 (※)       とのでは、         経施・影響・       建築構造解析 I         ・演習       UA1332 (※)         身体と空間のデザイン       建築構法 I、 I	UU1042 解析学 II UU1042 図学 II UU1042 線形代数学 II UU1042 物理学 I B UU1042 微分方程式 I	
1年⑥	UA2481 デザインスタジオ I		
2年③②	UA2112 (※)     UA2252 (※)       西洋建築中     建築環境計画       I, II     UA2252 (※)       UU2022 (※2)     UA2252 (※)       居住空間の計画     フィールドワーク論・演習       I, II     UU2012       建築構造計画と     構造デザインI, II       UU2012     UU2012 (※2)       GISによる地域解析機論	UU2042 関数論	英語科目 初修外国語科目 基礎科目・人文社会系 基礎科目・自然科学系 健康スポーツ科目
2年③	UU2032 社会デザインフューチャーセッション(※ 3) UA2481 デザインスタジオⅡ		
2年④⑤	UA2482 (※) ランドスケープ論 I, II UA2122 (※) 日本建築史I, II UA2122 (※) 人間生活と 建築計画 I, II UA2262 (※) 都市と都市計画 I, II UA2292 都市環境リスク共生論 A, B	UU1042 微分方程式 II	
2年⑥	UA2482 建築コンピュータ デザインA(※) 建築史演習		
3年①②	UA2481 デザインスタジオⅢA、ⅢB UA2112(※) 近代建築史A、B UA2122(※) 公共施設の計画A、B UU2012 建築芸術史論 A、B(※ 4) I I UA2302(※) かわ計画とまちづくり I、I UA2342(※) 鉄骨構造・演習 UA2342(※) 鉄骨構造・演習		
	UU2032 社会デザインフューチャーセッション(※ 3)		
3年③	UA2002 建築プレゼンテーション UA2002 建築インターンシップ UA2482 建築コンピュータ デザインB (※)		
3年④⑤	UA2482       建築デザイン       スタジオ I A, I B       UU2032       建築理論演習       UA2202       地域環境計画演習       UA2302 (※)       設備計画       II, IV       UA2302 (※)       建築生産       II, II       UA2302 (※)       建築生産       II, II	UU2042 確率・統計 UU2043 溶接工学概論	高度全学教育指定科目 ・基礎科目 ・グローバル教育科目 ・イノベーション 教育科目
3-8	UA3002 建築ゼミA, B		
4年①②	UA3001 卒業研究A (卒業設計, 卒業論文)       UA3482     UU2012       建築デザイン     建築芸術史論       スタジオ II A、 II B     A, B (※ 4)       UA3482     ・演習	UU2043 安全工学概論	
4年③	UA3002 建築実践英語A, B		
4年④⑤	UA3001 卒業研究B (卒業設計,卒業論文) UU2032 建築と都市のメディア・デ ザインI, II (※2)		

(※): 4つの系(AD, AT, US, SE)で各4単位以上,計25単位以上履修が必要な科目群 (※2): 学部共通科目のうち、建築学科提供の科目(建築学の専門性の高い科目) (※3): 2年次から履修可能な学部共通科目。建築学科提供の建築学の専門性の高い科目であり、建築学科の学生は、3年次に履修することが望ましい (※4): 2年次から履修可能な学部共通科目。建築学科提供の建築学の専門性の高い科目であり、建築学科の学生は、4年次に履修することが望ましい